

京都府 妙法院 大書院（重要文化財） 貫材 江戸時代初頭ごろ



大書院は、東福門院御所の移建とされていましたが、大棟両端の鬼瓦に「慶長八年六月吉日」の銘が発見されました。この銘が、創建時のものなのか、移築時のものなのかは判明していません。正確な建築時期はわかりません。

小原コレクションに含まれる妙法院材は、全部で7点あります。うちマツ4、ヒノキ2、クリ1点です。

貫材…マツ材。表面には手斧の痕跡が残ります。裏面には、斜めに筋が入っており、鋸によって切断された、製材時の痕跡であることがわかります。

